

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

2項 工鉦業費

2目 中小企業振興費

産業振興戦略総室（内線7653）→事業実施：産業振興総室

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
(新)都市エリア成果展開検討事業	1,090	0	1,090				1,090	
トータルコスト	1,090千円（前年度 0千円）							
従事する職員数	正職員：0.1人							
主な業務内容	協議会開催、専門家の招聘							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の概要 平成18～20年度に実施した都市エリア産学官連携促進事業（一般型）で構築された組織、研究成果を生かして、鳥取県内での機能性食品、バイオ関連技術等の産業集積を目指すための事業・研究展開、体制構築等についての検討を行う。</p> <p>2 事業内容 (1) 協議会の開催 ○開催回数 3回 ○構 成 県、(財)産業振興機構、産業技術センター、鳥取大学、県内外企業、バイオ関連専門家等 ○協議事項 都市エリア産学官連携事業（一般型）の組織、研究成果を活かした事業・研究展開、体制構築等を検討</p> <p>(2) バイオ関連専門家の招聘等（事業費：1,090千円） 事業・研究展開の検討に当たり、バイオ関連専門家からの意見聴取等を行う。 ○専門家の想定例：都市エリア科学技術コーディネータ、企業技術者、ベンチャーキャピタル技術顧問等 ○活動内容：会議出席、個別協議</p>								
<p>(参考) 都市エリア産学官連携促進事業（一般型）の概要 水産資源が豊富な米子市、境港市の特性を活かし、地元企業が有する水産資源に関する独自技術等と鳥取大学が有する染色体工学技術等との連携により、生活習慣病予防に関する機能性食品、バイオ関連産業の創出を目指すための共同研究等を行う。（文部科学省委託事業）</p> <p>(1) 事業課題 「染色体工学技術等による生活習慣病予防食品評価システムの構築と食品等の開発」</p> <p>(2) 事業内容 ①共同研究事業 テマ1「ヒト人工染色体（機能発現遺伝子導入）を利用した機能性評価技術の開発」 テマ2「動物・ヒト臨床による機能性評価法の開発」 テマ3「水産資源からの機能性食品素材・食品の開発」 ②研究交流事業 研究報告会、講演会等の開催</p> <p>(3) 主な研究成果例 ○ヒト肝臓の遺伝子を有するマウスの作成 ○病巣等が発光するマウスの作成 ○コラーゲンの投与による関節、靭帯の治癒促進効果の確認 ○機能性食品素材（コラーゲン、コラーゲン等）の製品化技術の開発</p>								